

明峰中学校と小瀬高校は、連携型中高一貫校として新たな中高連携を模索し、推進することを通して、「地域の中で歩み、地域に貢献できる生徒」の育成に励んでいます。

連携型中高一貫教育 生徒交流事業

7月12日（金）、明峰中の3年生を対象に『福祉体験学習』を行いました。今回は、小瀬高の福祉コースの2・3年生が講師役を務め、日頃学習した内容を中学生の皆さんに伝達しました。高齢者疑似体験や車椅子体験、シルバーリハビリ体操などに分かれて活動しました。どちらの体験でも、高校生が中学生をリードし、和やかな雰囲気の中でも、真剣に取り組むことができました。参加した中学生からは、「とても貴重な体験ができた」「高校生の説明がわかりやすかった」等の感想が寄せられました。

また、7月17日（水）には『連携型中高一貫教育進路ガイダンス』を行いました。それぞれがグループに分かれ、小瀬高の様子や学習の仕方、夏休みの学習の仕方など座談会形式で話し合いました。身近な先輩の経験談は自分の生活を見つめ、振り返るよい機会となりました。

その他にも、ふれあい花壇整備等、連携校の生徒が相互に関わる活動に取り組んでいます。これからは、部活動交流などがあります。今後も明峰中と協力して様々な体験を重ねることで、「地域の中で歩み、地域に貢献できる生徒」を育てるために尽力いたします。



中高一貫教育振興連絡協議会 連携型中高一貫教育推進委員会



5月17日（金）、中高一貫教育振興連絡協議会並びに連携型中高一貫教育推進委員会が開催されました。

ご参加いただいた皆様からは、「中高の学習のつながり、サイクルを意識してほしい」「少子化の中でもチャレンジしてほしい」「地域産業のよさを県、全国に発信していくプロジェクトを考えてみてはどうか」等のご助言をいただきました。

今後の連携事業も『**継承と開拓**』を意識して進めてまいります。

継承と開拓～ここにしかない ここだからある～